

《チャイルドラインデータ資料》 2021年度・第2四半期 【集計データから、子どもたちの状況を読み解く】

特定非営利活動法人チャイルドライン支援センター

《データ資料概要と注意点》

2021年7月～2021年9月のアクセス内容、データベースを集計し分析

チャイルドラインに寄せられた子どもたちの声にどのような傾向があるのか。チャイルドラインにおける“データベース”等を基に、集計しました。

- ・期間：《2021年度・第2四半期》2021年7月～2021年9月（速報値）
- ・データ集計日：2021年11月8日
- ・集計数（分母）：

【トラフィックデータ】（件数・今回使用したデータのみ掲載）

	4月	5月	6月	3ヶ月計	7月	8月	9月	3ヶ月計
2020年					45,649	39,867	47,390	132,906
2021年	34,640	46,538	39,564	120,742	39,084	49,735	44,996	133,815

【データベース】（件数・今回使用したデータのみ掲載）

	4月	5月	6月	3ヶ月計	7月	8月	9月	3ヶ月計
2020年（全体）					14,026	13,379	13,389	40,794
2021年（全体）	12,300	13,250	12,879	36,966	13,690	13,021	11,171	37,882
2020年（会話成立）					4,500	4,080	4,271	12,851
2021年（会話成立）	3,843	3,777	3,717	11,337	3,866	3,540	3,561	10,967

※（全体）は会話成立、会話不成立、無言などを含んだ全体集計数 ※4月～6月は再集計値。他資料とはデータが異なる場合がある。

- ・表記の定義： 「％」＝上記項目の分母（集計した数）の割合
「件」＝データベースに入力されたアクセス・会話件数
「ポイント」＝パーセントポイント（他の％との比較）
- ・データの種類： 【トラフィックデータ】 電話＝NTTコミュニケーションズ、チャット＝AI.BiSから取得
【データベース】 電話・チャット＝「受け手」が感じた内容を子どもが特定できないようプライバシーに配慮し、データベースとして集積
- ・データの性質： データの誤入力や重複、未入力データがある等、今後、修正が生じる可能性があるため、「速報値」であることを前提として扱う必要がある
- ・報道関係の皆様へ： データ資料について取材、ご利用の際は、チャイルドライン支援センター（連絡先最終ページ）までご一報ください。

《今期のポイント》

夏休みをはさむ今期は、生活の中心が「学校」「家庭」「学校」と移動する時期でもあります。8月は「学校」に関する話題は減少しましたが、自宅で自分の時間が増えるためSNSやゲームの話題などが増えました。また、数字には出てきませんがヤングケアラーと思われる話もきかれました。9月の学校再開にあたっては学校での人間関係や部活でのことの他に、コロナへの不安を口にする子もいました。

【前四半期との比較】

今期（2021年7月～9月）は夏休みをはさんでいるので、話の主訴を前四半期（2021年4月～6月）と比べると「学校」「地域」が減少し「家庭」「部活」「性」が増えていることがわかります。（P10）

希死念慮のある内容の割合は少し増えています。（P16）希死念慮の内容で主訴を見てみると「学校」に関する内容が増え、「家庭」「自分」が減少しています。（P18）これは9月に「学校」に関する内容が増えていることから（P10）夏休み明けの学校再開が要因として考えられます。

【前年同期との比較】

前年同期（2020年7月～9月）はCOVID-19の感染拡大による休校が長引いた影響で夏休みが短縮されたり、学校での生活様式が変わったりと先行きが見えない時期でした。

主訴に関しては、現在も子どもたちの生活はCOVID-19の影響下にあるので大きな変化は見られませんでした。（P10）

気持ちでは「困惑・困っている」「つらい・苦しい」「怒り・いらだち」が増加、「孤独・寂しさ」が減少しています。長引く自粛生活で、漠然とした不安や孤独感から、より具体的な怒りや困りに変化しているのかもしれませんが。また「楽しい・うれしい」気持ちを話してくれる子どもが増えているのはおとなとしてはホッとできることです。（P12）

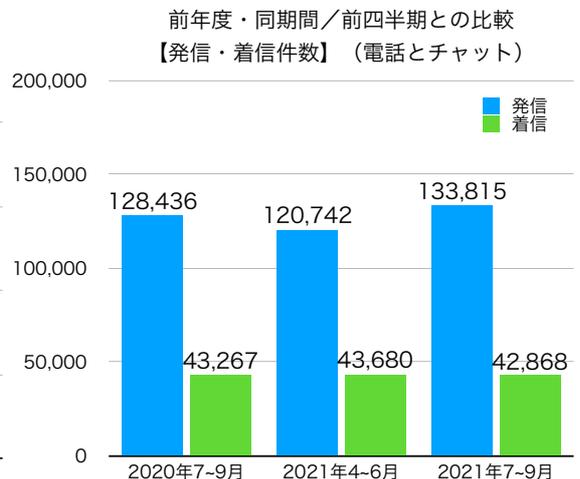
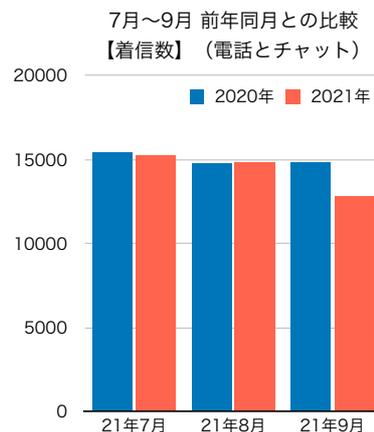
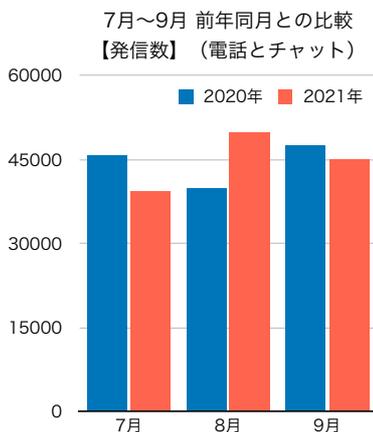
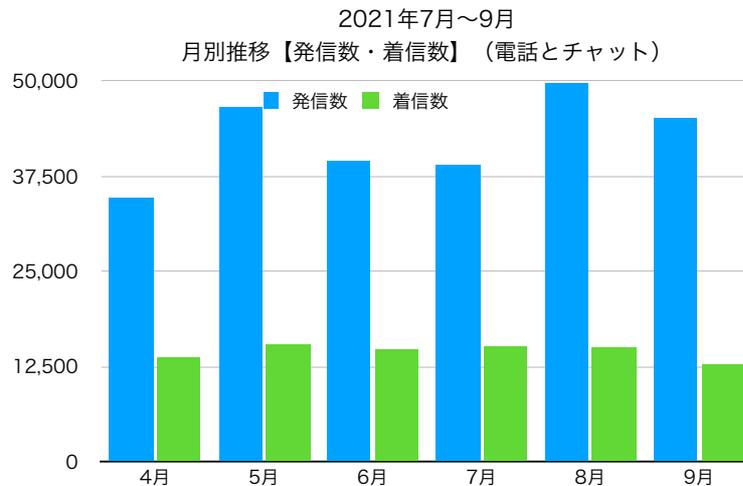
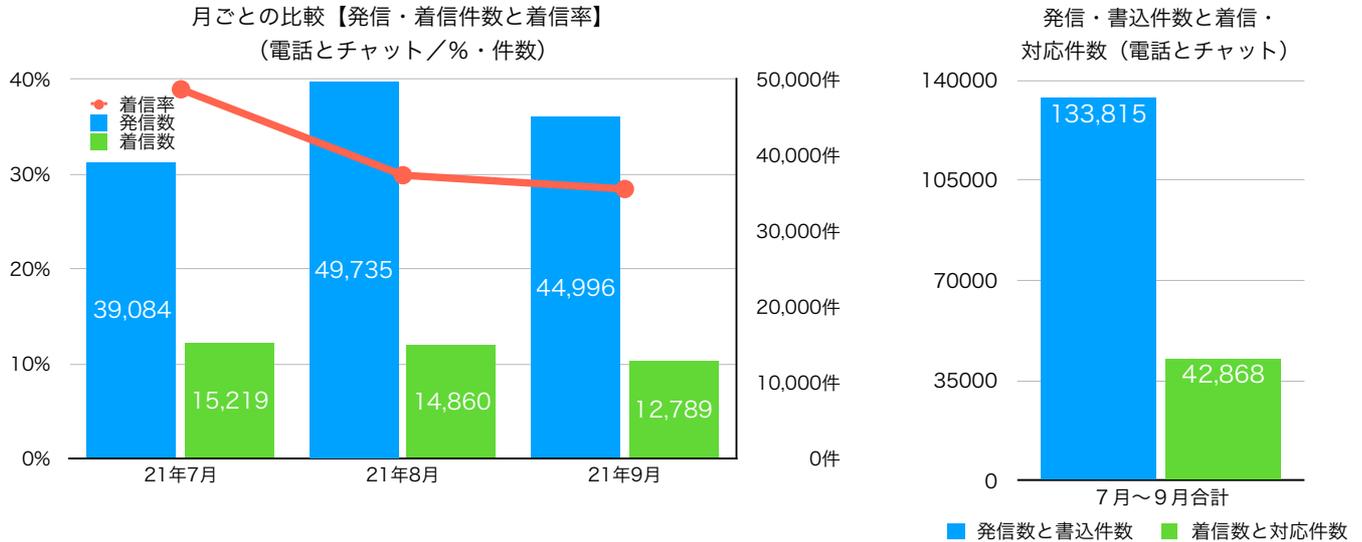
希死念慮のある内容は少し増えています。「学校」「自分」が増加し、「家庭」が減少しているのは学校で過ごす時間が昨年よりも増えているためと思われます。（P18）

【子どもの声】 *個人が特定されないようプライバシーに配慮して再構成しています。

- ▶部活のレギュラーのことで2～3人とケンカになった。けがをしたけど相手は先生が気に入ってる子だから何も言えなかった。
- ▶学校に行きたくないときがある。授業がにぎやかだったりすると自分の居場所がなくなった気がする。
- ▶お母さんが病気で家の手伝いばかりさせられる。弟や妹がいるから、自分のことができない。家にいたくない。
- ▶クラスの子から「新学期になっても登校するな。自殺して」と言われた。医療従事者の母がコロナに感染し、自分も陽性で自宅待機してる。
- ▶友だちができない。クラスの子がSNSで楽しそうな写真上げてるのを見ると悲しくなる。
- ▶母子家庭でコロナが始まってから食べるものがない。食料がもらえて晩ご飯久しぶりに食べた。
- ▶コロナのワクチンを打った方がいいのか悩む。就職試験の日と重なったら困るけど、みんなが打っているから。。。何が正しいのか分からない。
- ▶夏休みの宿題が終わらない。お姉ちゃんは全部終わっててすごいなって思う。
- ▶最近お父さんの機嫌が悪くてお母さんとけんかすることが多い。物を投げられたりする。いつまで続くのかな。
- ▶死にたい。生きていたくない。原因はわからないけど。さみしいのかな。話していたい。
- ▶ネットでうつ病のテストしたら、当てはまるところがたくさんあった。日曜日になると学校のことを思い出して憂鬱になる。
- ▶SNSで知り合った人と会って写真撮ったけど、怖くなってきた。
- ▶服装検査で下着が白じゃないって女の先生にスカートめくられた。男子もいたのに。

《トラヒックデータ／発信数・着信数》

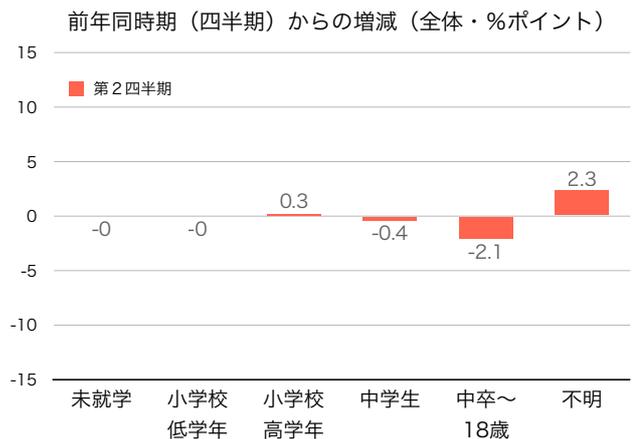
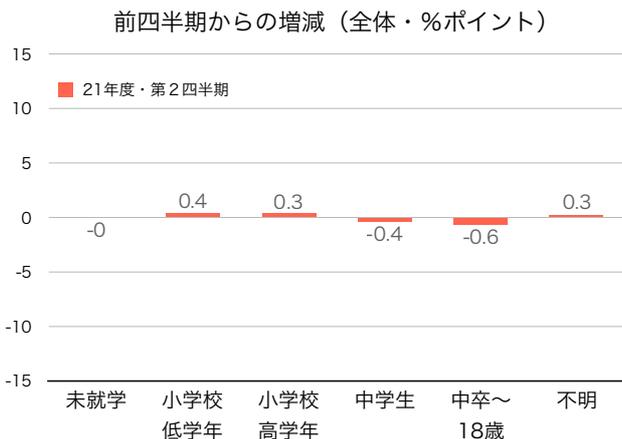
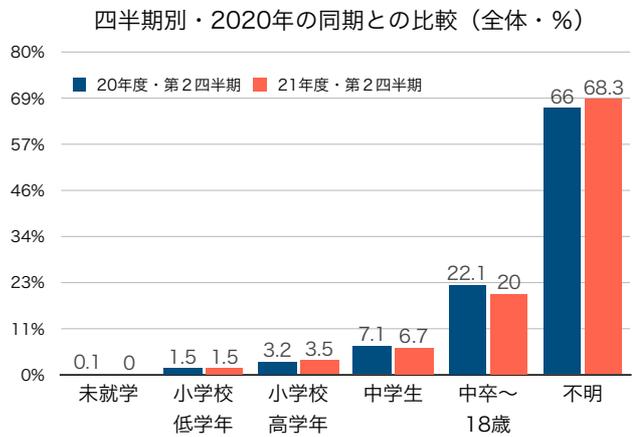
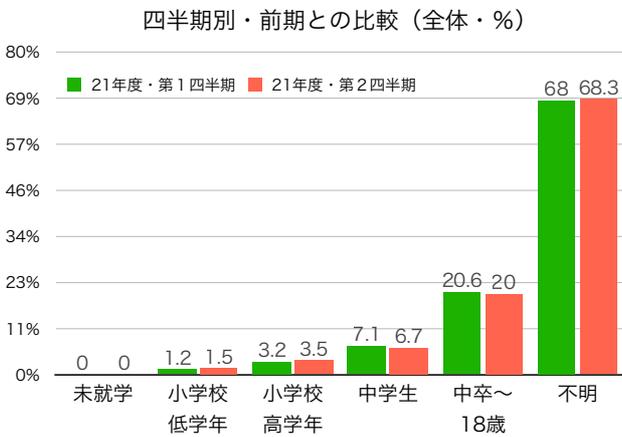
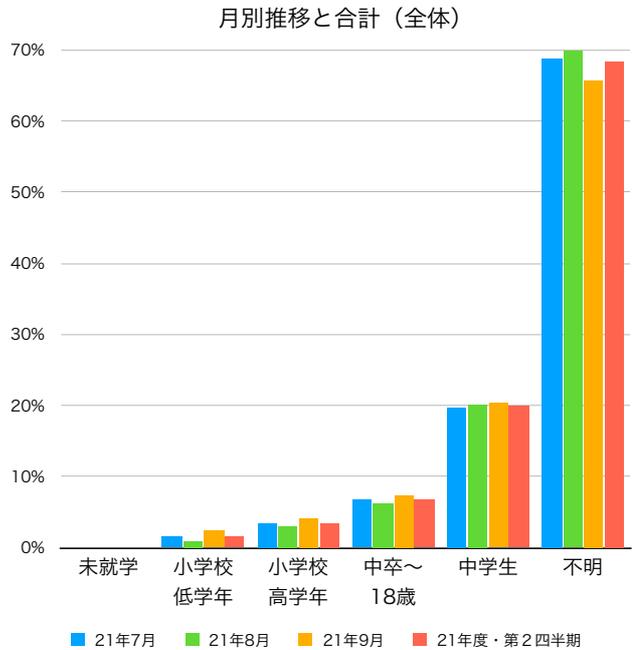
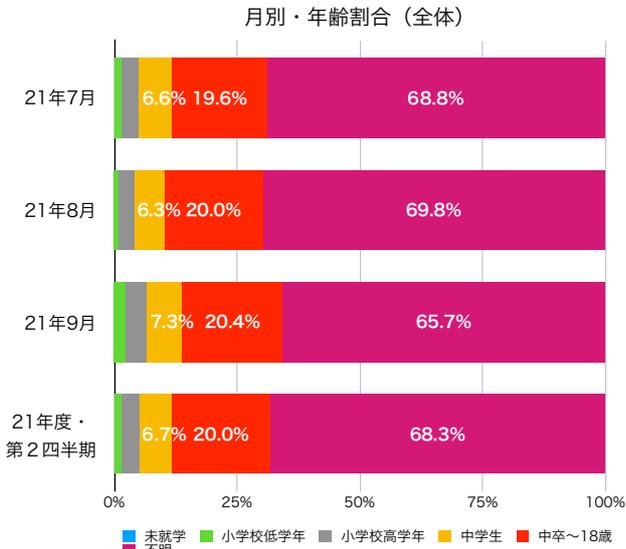
トラヒックデータの発信数・着信数は、この3ヶ月では、2021年の8月に発信数が多かった。昨年の同月との比較においては、2020年のコロナ禍における体制が概ね回復したこともあり、4-6月期よりは差が小さくなっているが、8月は昨年の発信数を上回った。一方「着信数」は9月がわずかだが昨年より減少した。



《データベース・年齢（全体）》

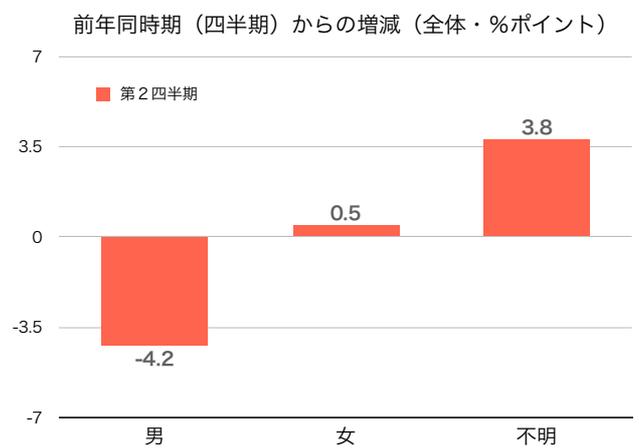
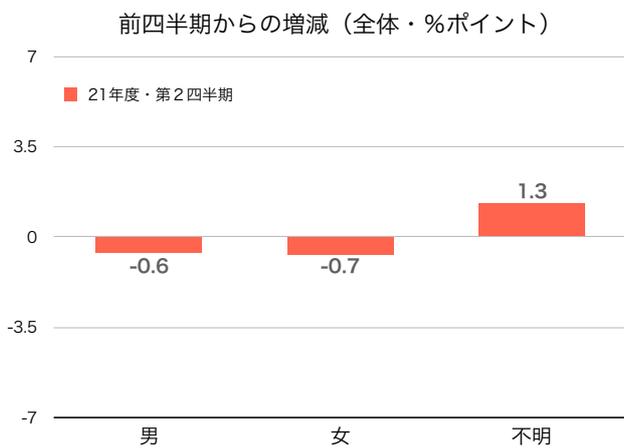
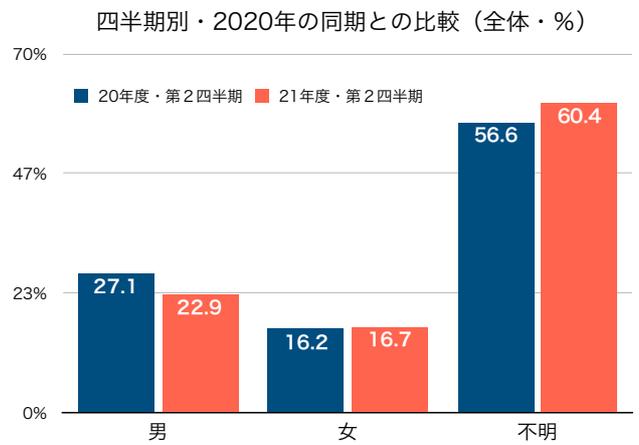
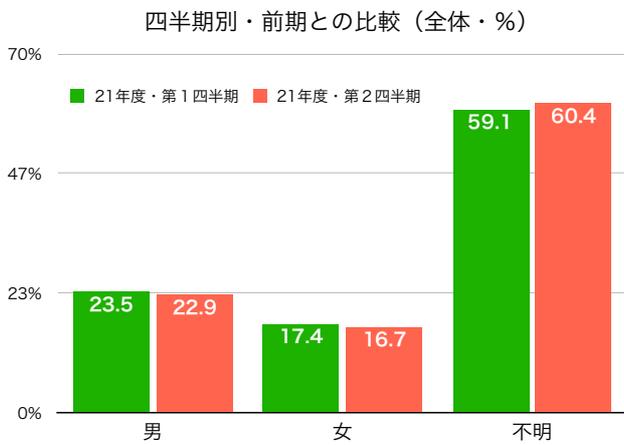
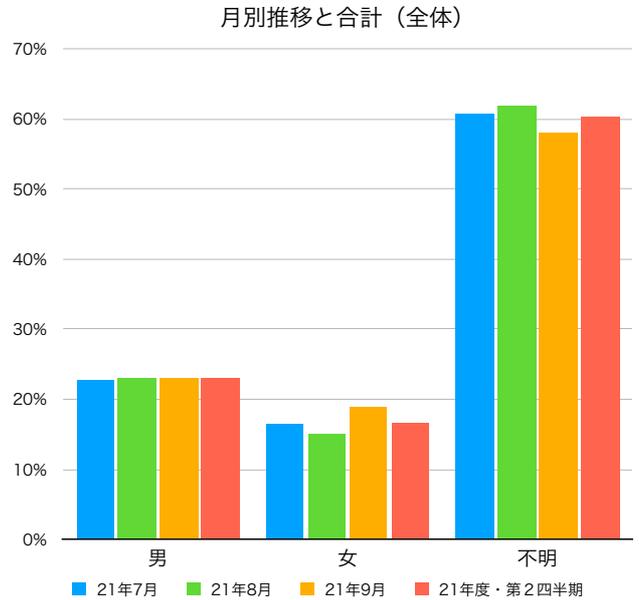
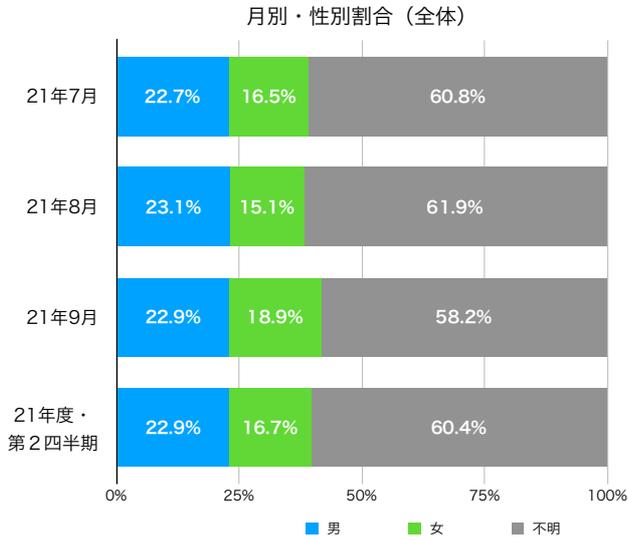
データベースにおける、会話成立・会話不成立・無言などを含めた「全体」について「年齢」を軸に、集計した。年齢割合は、全体として会話不成立や無言などが多い（約7割）ので「不明」が多い。

また9月に年齢がわかった割合が増加している。また昨年同期と比べると、中卒～18歳がやや減少し、不明がやや増加している。



《データベース・性別（全体）》

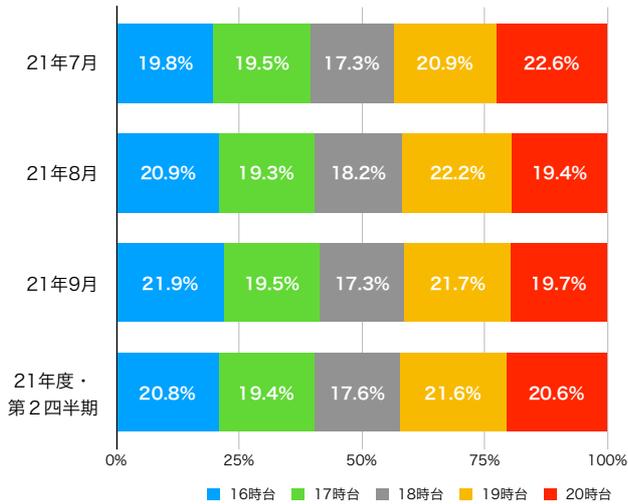
データベースにおける、会話成立・会話不成立・無言などを含めた全体について、「性別」を軸に、集計した。前項と同じく、「不明」の割合が多い。また、前年同時期の比較では、男性のポイントが下がり、不明のポイントが増加した。



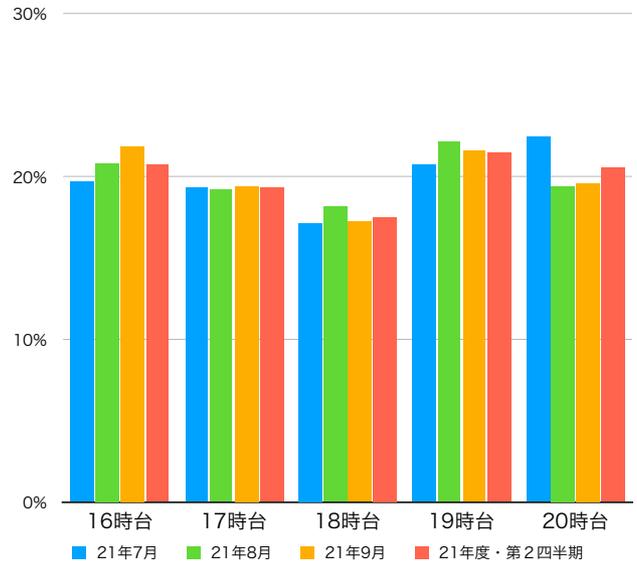
《データベース・時間帯（全体）》

データベースにおける、会話成立・会話不成立・無言などを含めた全体について、「時間帯」を軸に、集計した。16時台と19時台にやや受信が多い傾向にある。18・20時台はやや少ないが、実施体制（回線数や人数）も関係しているので、目立った傾向はわからない。一方で、4-6月の前四半期比較では20時台が増加し、他の時間は減少する傾向にあった。

月別・時間帯割合（全体）



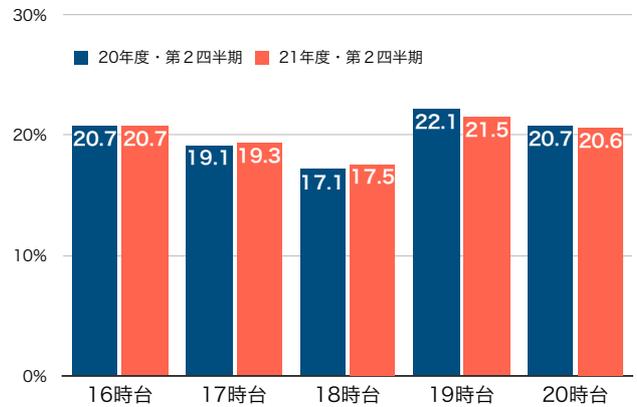
月別推移と合計（全体）



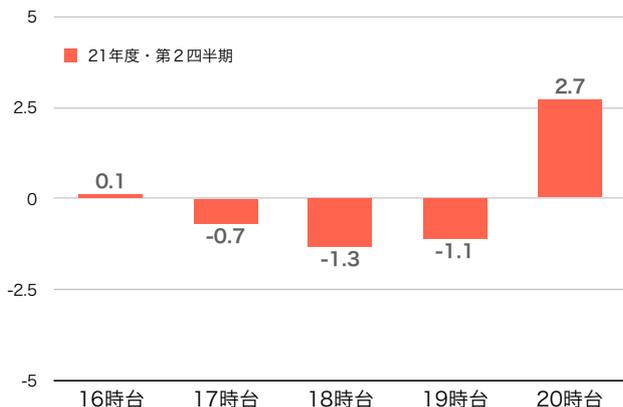
四半期別・前期との比較（全体・%）



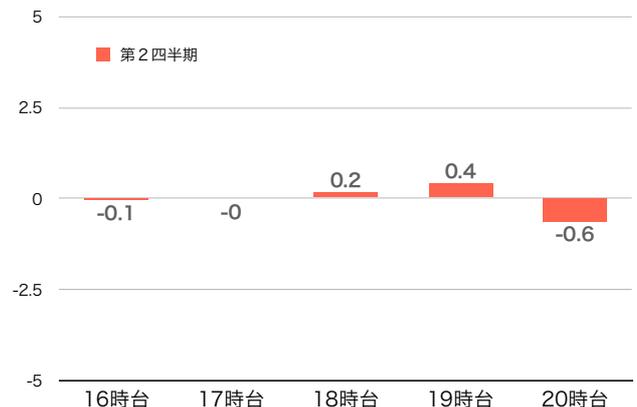
四半期別・2020年の同期との比較（全体・%）



前四半期からの増減（全体・%ポイント）



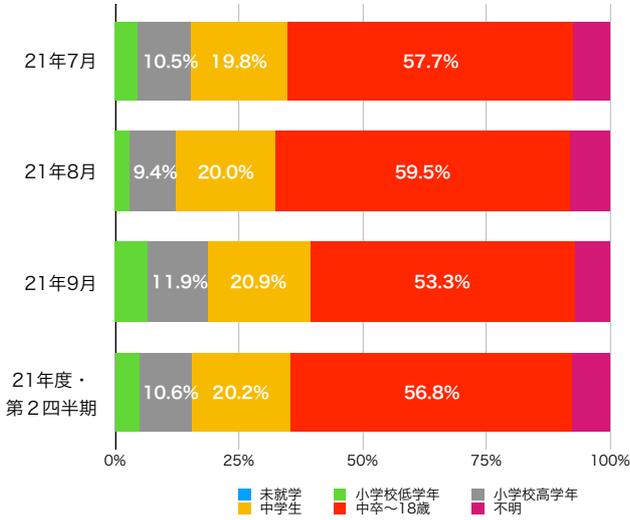
前年同時期（四半期）からの増減（全体・%ポイント）



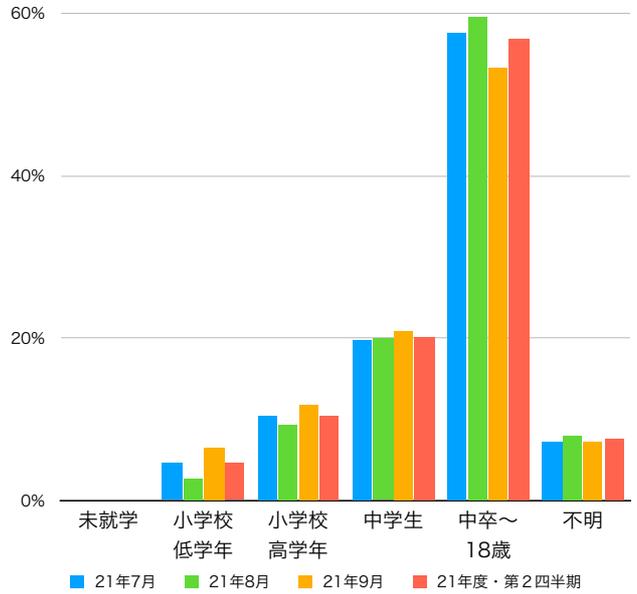
《データベース・年齢（会話成立）》

ここからはデータベースの「会話成立」に絞ったデータを紹介する。まず「年齢」別の集計から。年齢の割合は、3ヶ月通じて高校年齢割合が多い（5～6割）が、9月に小学生の割合が増加傾向である。また、前四半期（4-6月）と去年同期比では、前回のデータ(4-6月)よりは変化は小さい。

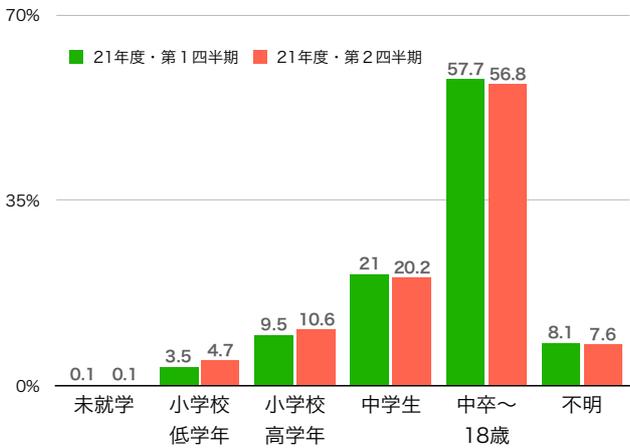
月別・年齢割合（会話成立）



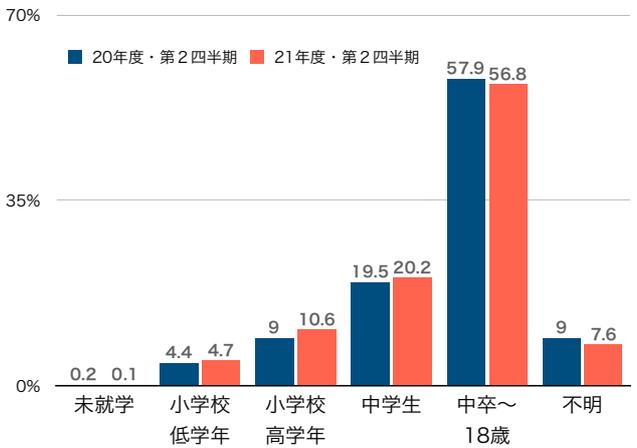
月別推移と合計（会話成立）



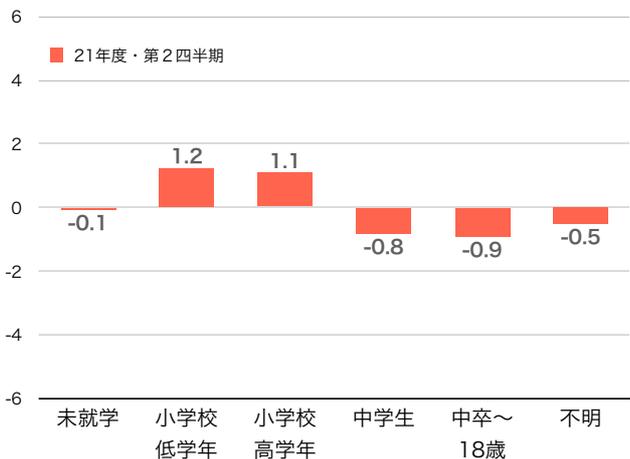
四半期別・前期との比較（会話成立・％）



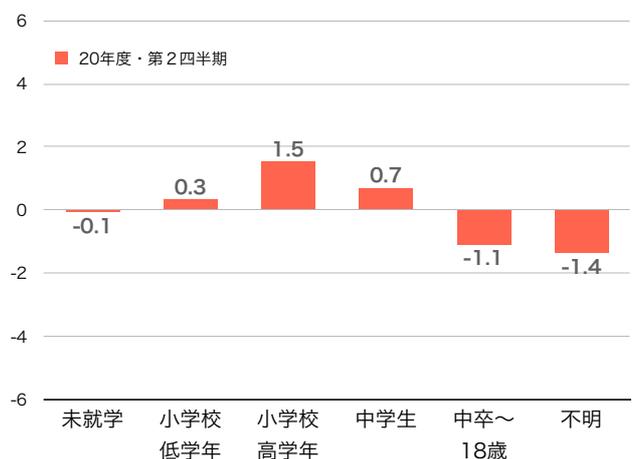
四半期別・2020年の同期との比較（会話成立・％）



前四半期からの増減（会話成立・％ポイント）



前年同時期（四半期）からの増減（会話成立・％ポイント）

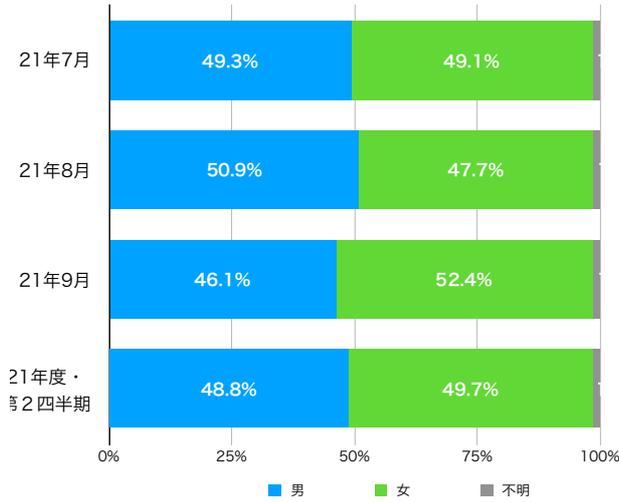


《データベース・性別（会話成立）》

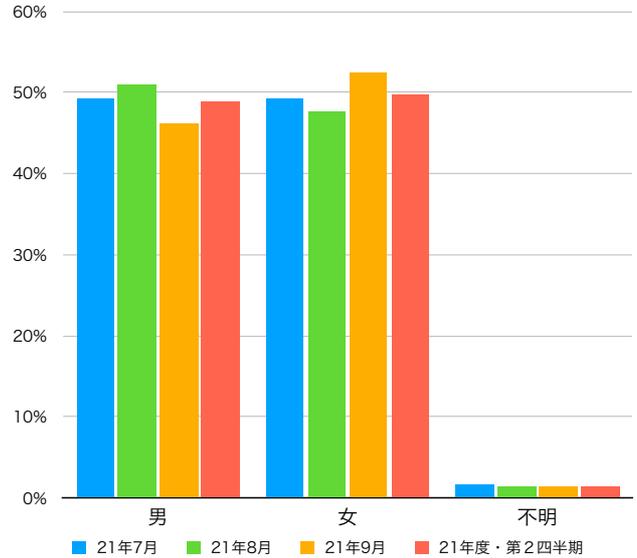
データベースの「会話成立」の中の「性別」を軸に集計した。男女ともに割合に大きな変化はないが、9月にやや女性割合が高くなっている。

2020年との比較で見ると男性が大幅に減り、女性が増加する傾向が強く出ている。この傾向はさらに分析が必要だが、概ね、2020年のデータ傾向が特徴的だった影響と考えられる。

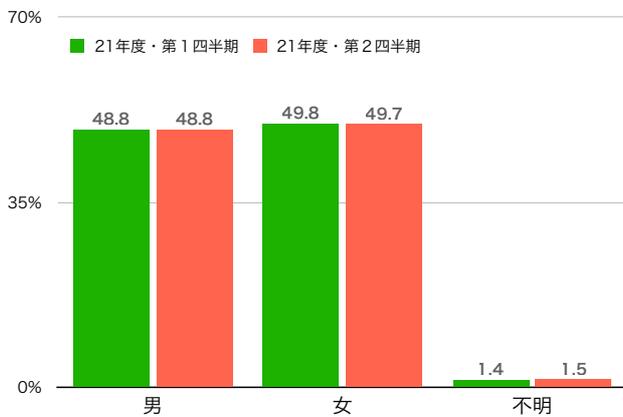
月別・性別割合（会話成立）



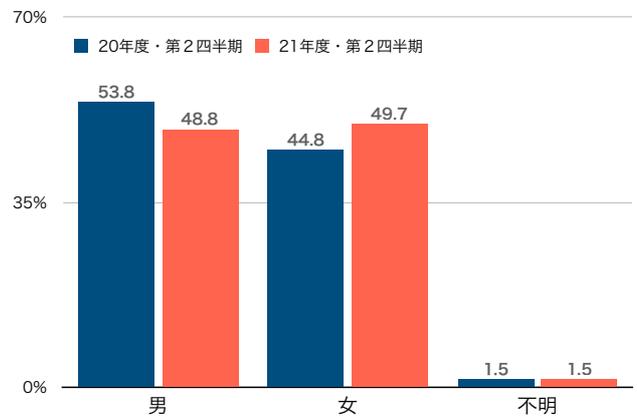
月別推移と合計（会話成立）



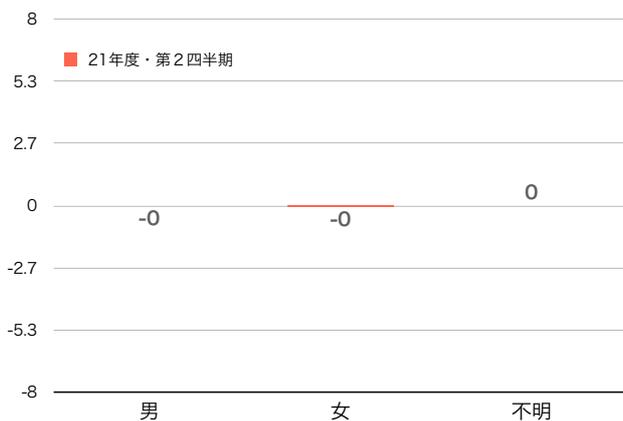
四半期別・前期との比較（会話成立・%）



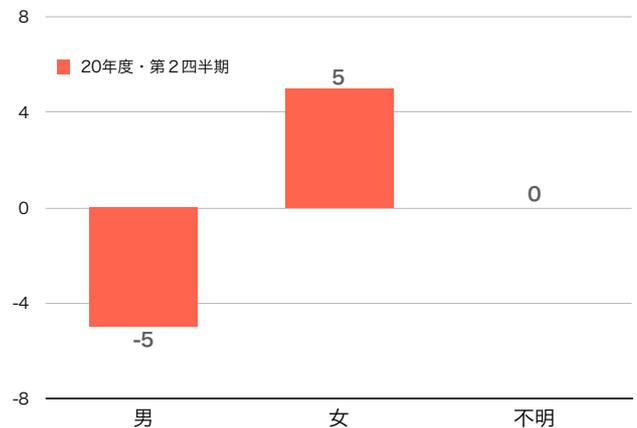
四半期別・2020年の同期との比較（会話成立・%）



前四半期からの増減（会話成立・%ポイント）



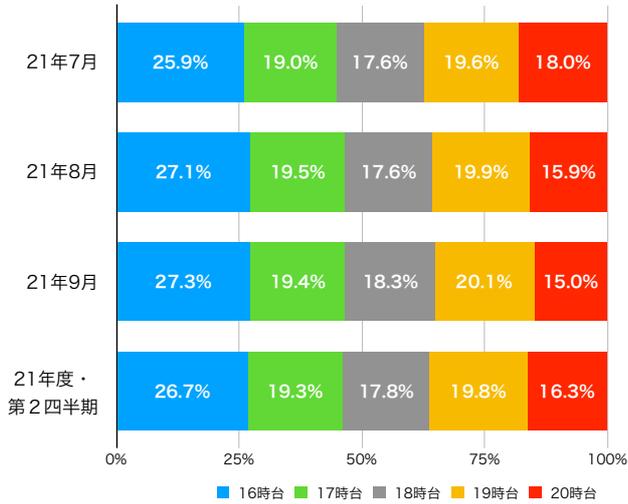
前年同時期（四半期）からの増減（会話成立・%ポイント）



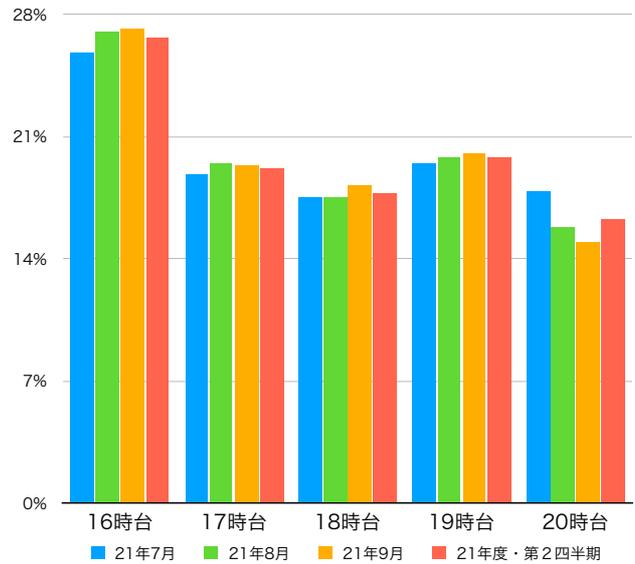
《データベース・時間帯（会話成立）》

データベースの「会話成立」の中の「時間帯」を軸に集計した。概ね、割合の変化はないが、7月にやや20時台が増加していた。前期（4-6月）と昨年比で見ると、17時台にやや減少傾向だった。ただ、実施体制（回線数や人数）の影響も考えられるので留意が必要。

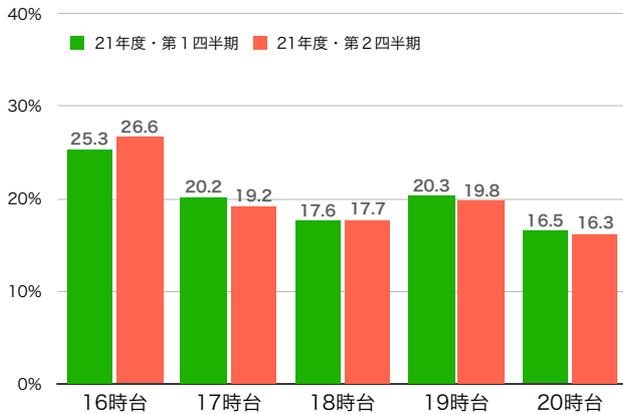
月別・時間帯割合（会話成立）



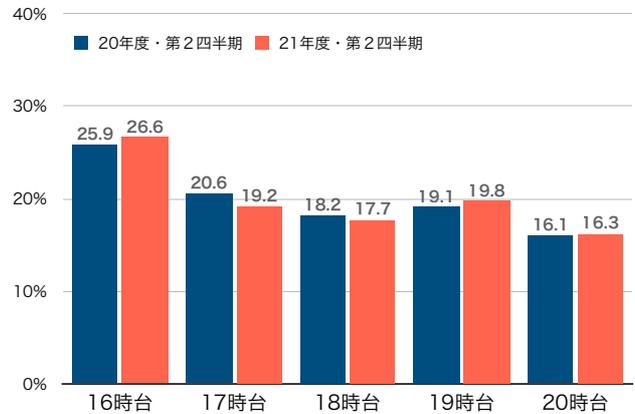
月別推移と合計（会話成立）



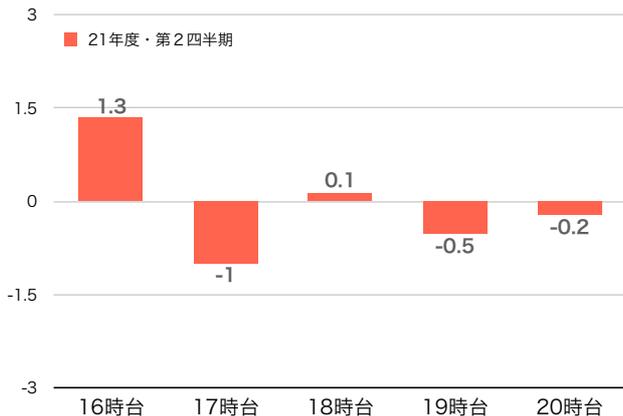
四半期別・前期との比較（会話成立・%）



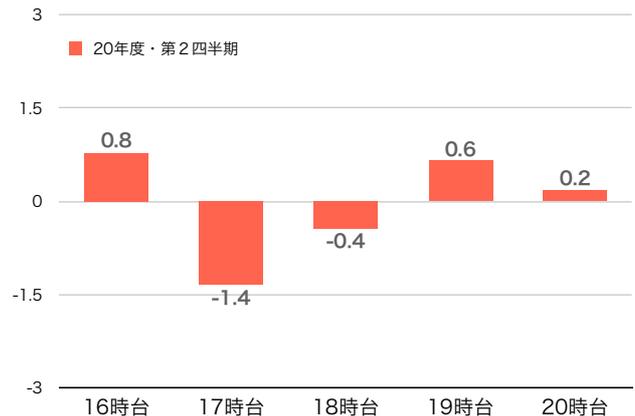
四半期別・2020年の同期との比較（会話成立・%）



前四半期からの増減（会話成立・%ポイント）



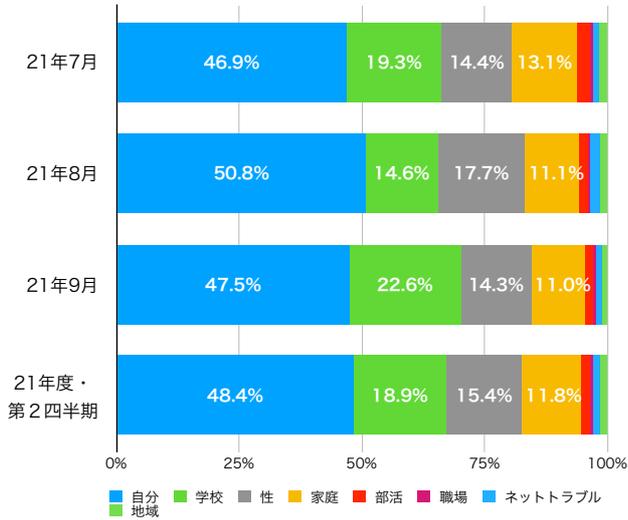
前年同期（四半期）からの増減（会話成立・%ポイント）



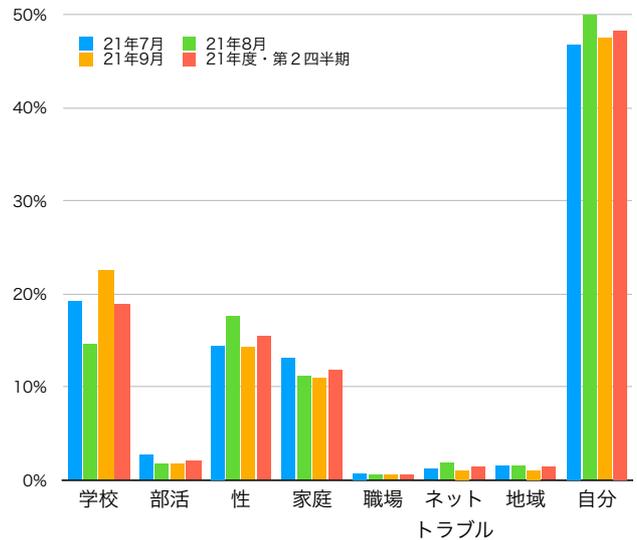
《データベース・主訴【大項目】（会話成立）》

データベースの「会話成立」の中の「主訴【大項目】」を軸に集計した。夏休みの8月に「学校」が減少して、9月は逆に増加していることがわかるが、これはコロナ前からの傾向と概ね似ている。また、前四半期比較では「学校」が、夏休み期間もあったからか減少している。前年同期比較においては、3ヶ月通したデータからは大きな変化は見られなかった。

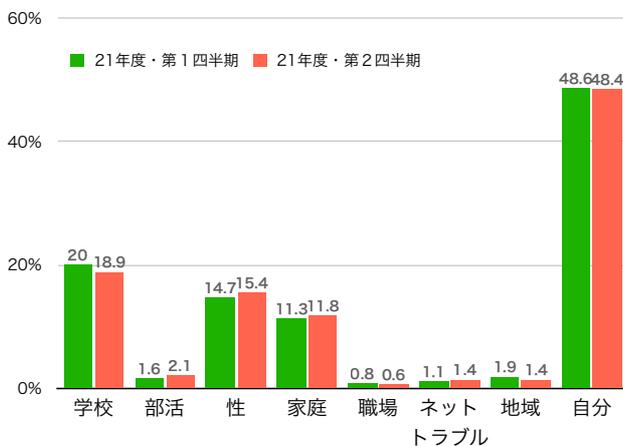
月別・年齢割合（会話成立）



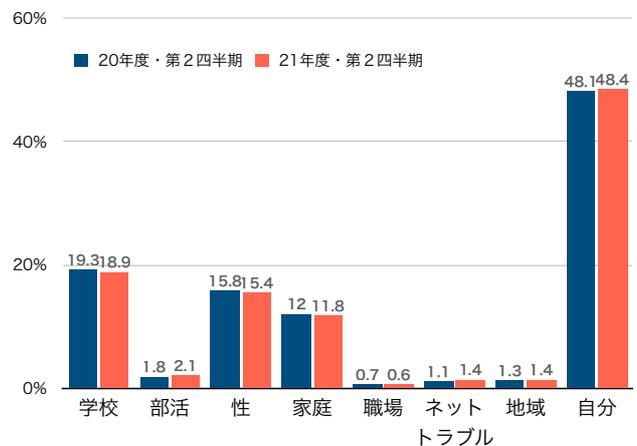
月別推移と合計（会話成立）



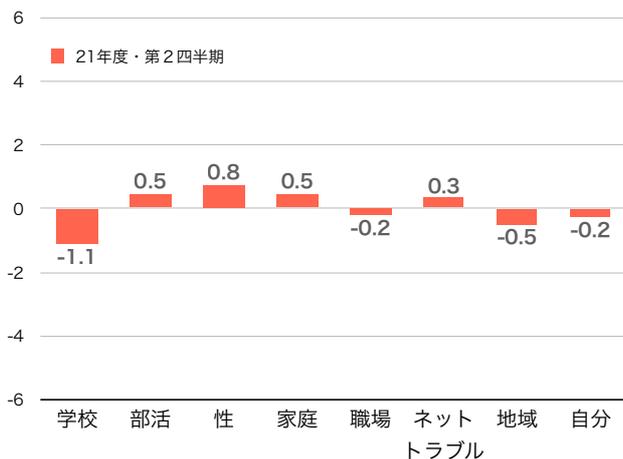
四半期別・前期との比較（会話成立・％）



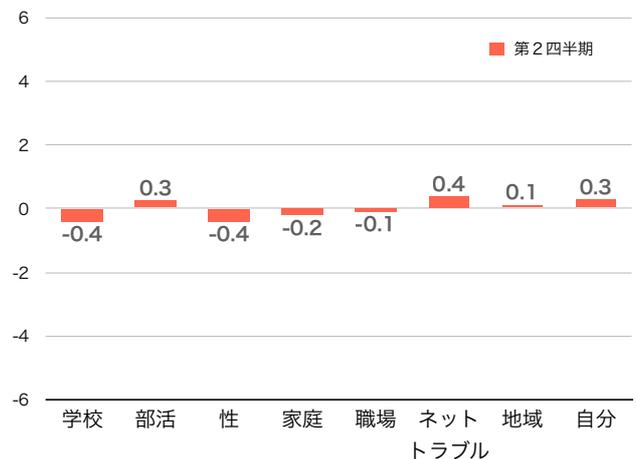
四半期別・2020年の同期との比較（会話成立・％）



前四半期からの増減（会話成立・％ポイント）



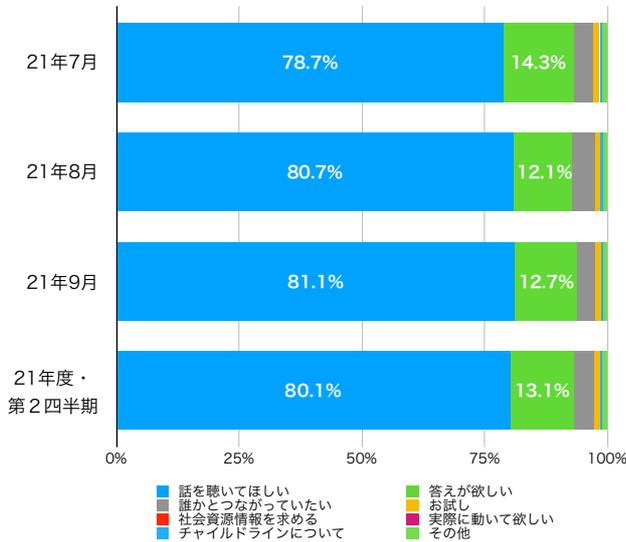
前年同期（四半期）からの増減（会話成立・％ポイント）



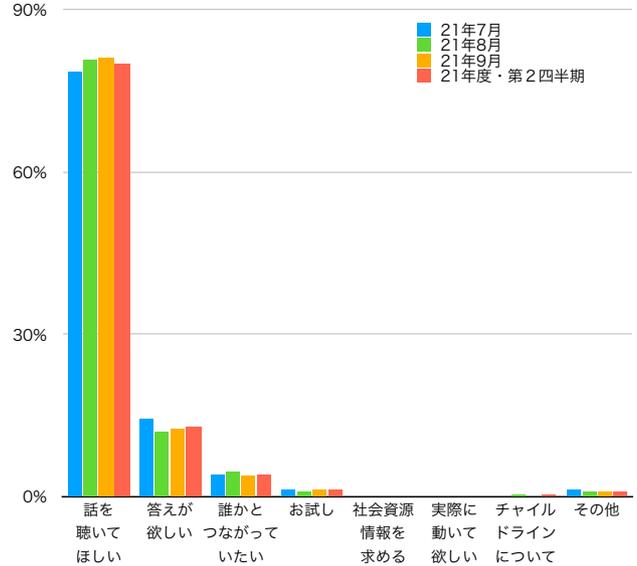
《データベース・動機（会話成立）》

データベースの「会話成立」の中の「動機」を軸に集計した。いずれも大きな変化は見られないが、前半四半期の比較では「答えがほしい」がやや増加（前半四半期4-6月は「話を聞いてほしい」が増加）し、前年同時期比較でも、「お試し」が減るなど僅かに変化があった。

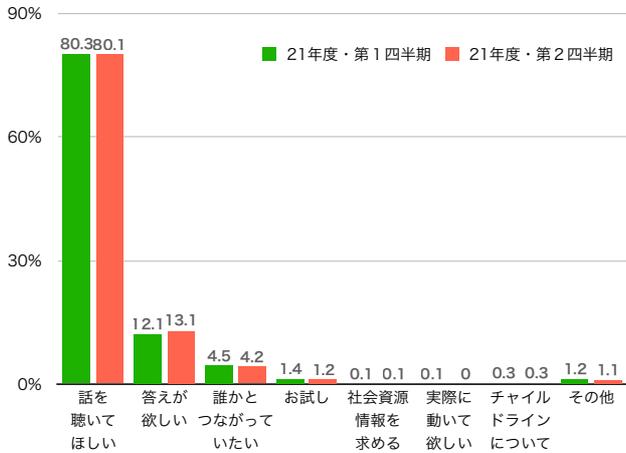
月別・年齢割合（会話成立）



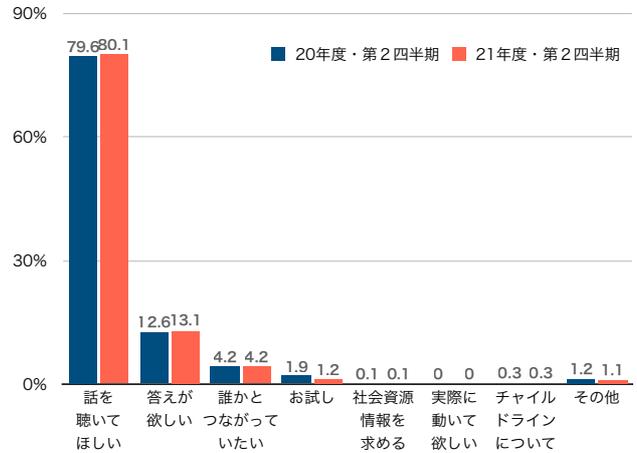
月別推移と合計（会話成立）



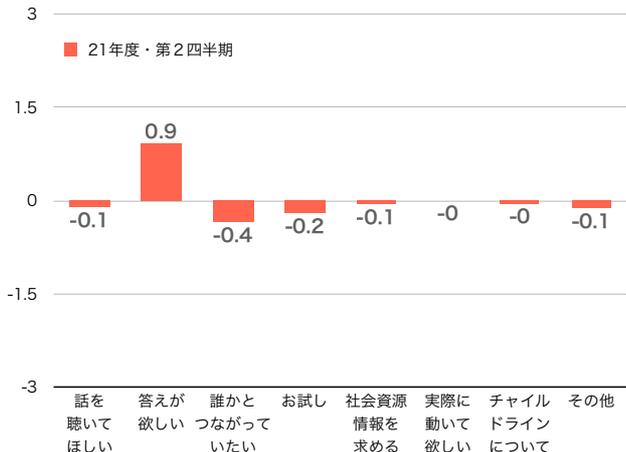
四半期別・前期との比較（会話成立・%）



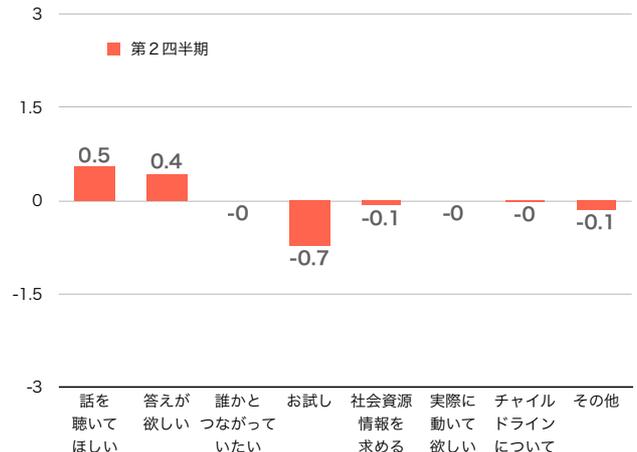
四半期別・2020年の同期との比較（会話成立・%）



前半四半期からの増減（会話成立・%ポイント）



前年同時期（四半期）からの増減（会話成立・%ポイント）

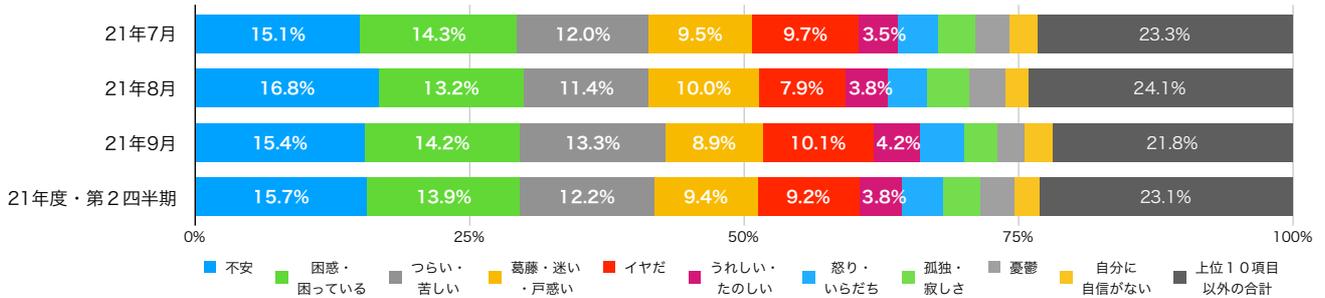


《データベース・気持ち（会話成立）》

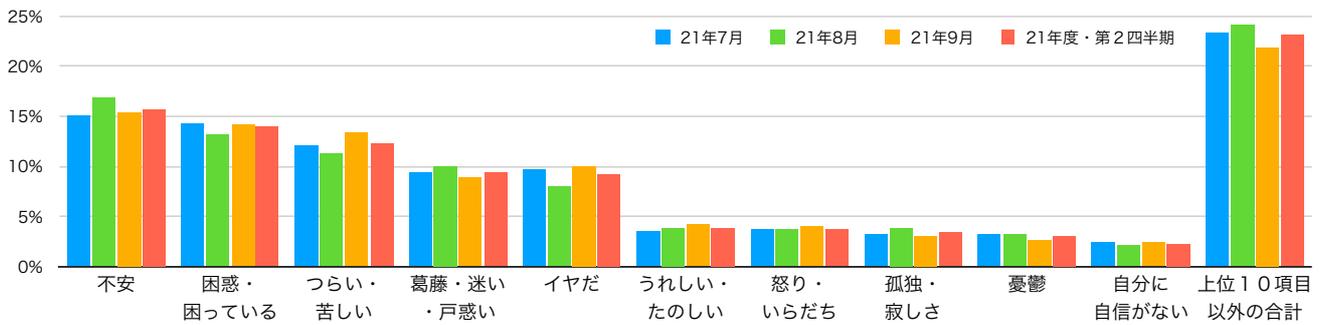
データベースの「会話成立」の中の「気持ち」を軸に集計した。ここでは項目が多いので、「割合の高い上位10項目」を基本にまとめた。8月に「イヤだ」がやや減少し、「不安」がやや増加となった。

また2020年との比較では、「困惑・困っている」「つらい・苦しい」がやや増加していた。そのほか細かな変動については、中長期的な傾向を含めて今後の分析が必要かと思われる。

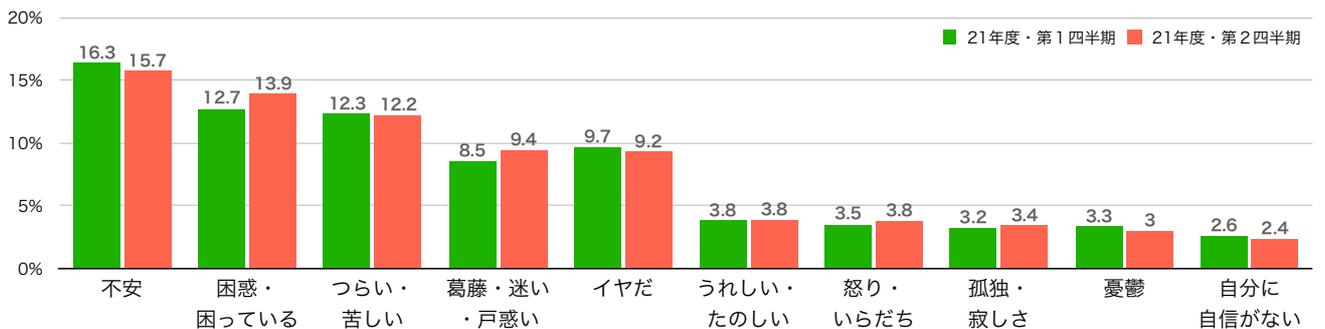
月別・年齢割合（会話成立／割合上位10項目）



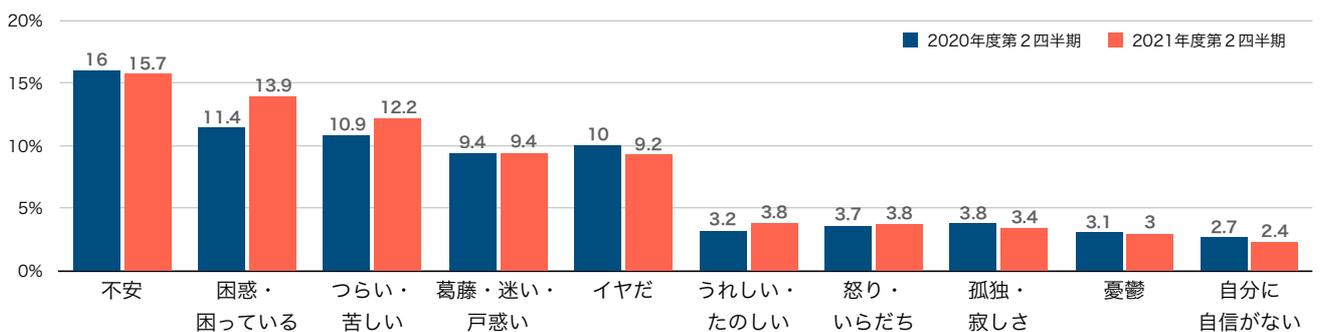
月別推移と合計（会話成立／割合上位10項目）



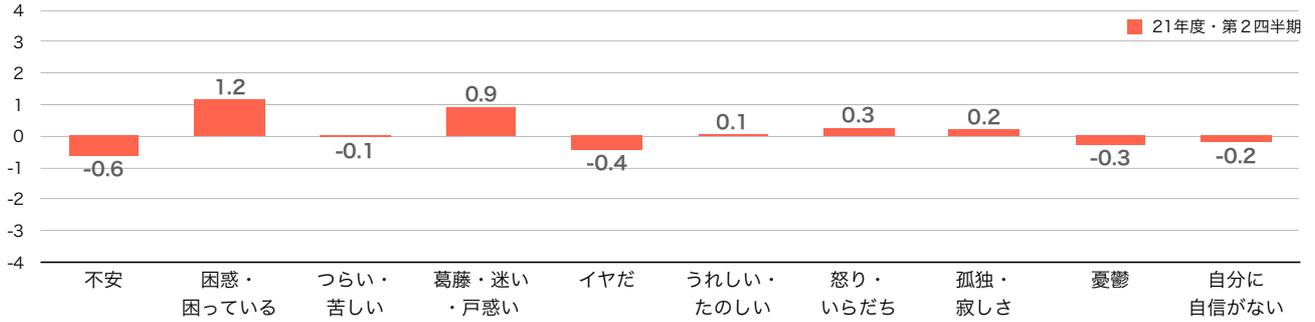
四半期別・前期との比較（会話成立・％／割合上位10項目）



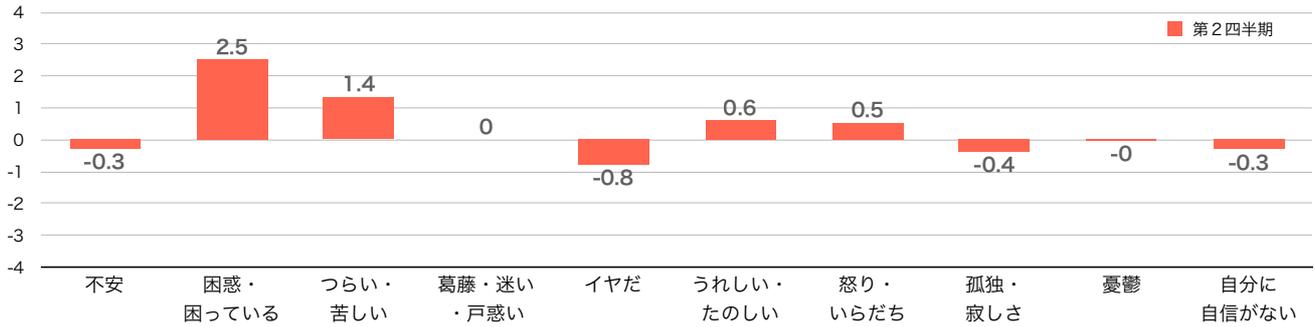
四半期別・2020年の同期との比較（会話成立・％／割合上位10項目）



前四半期からの増減（会話成立・%ポイント／ポイント幅の大きい10項目）

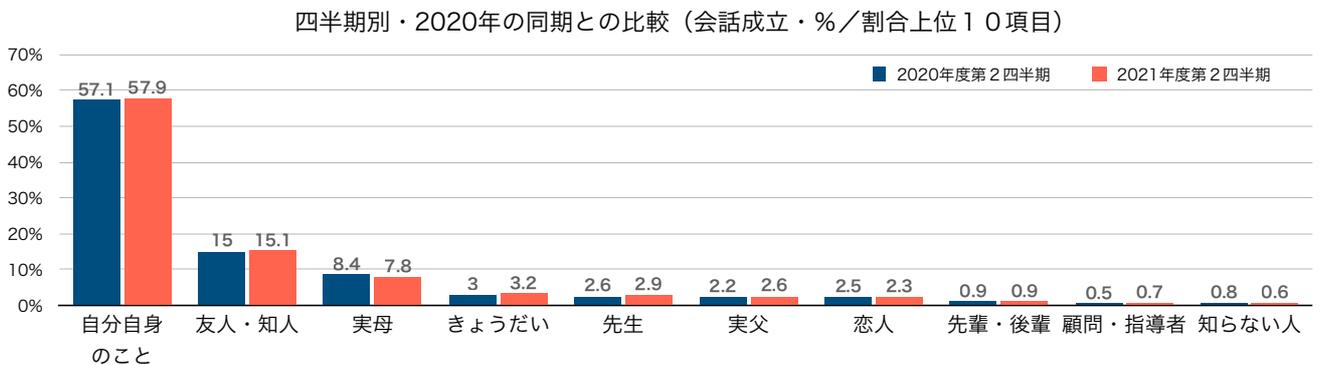
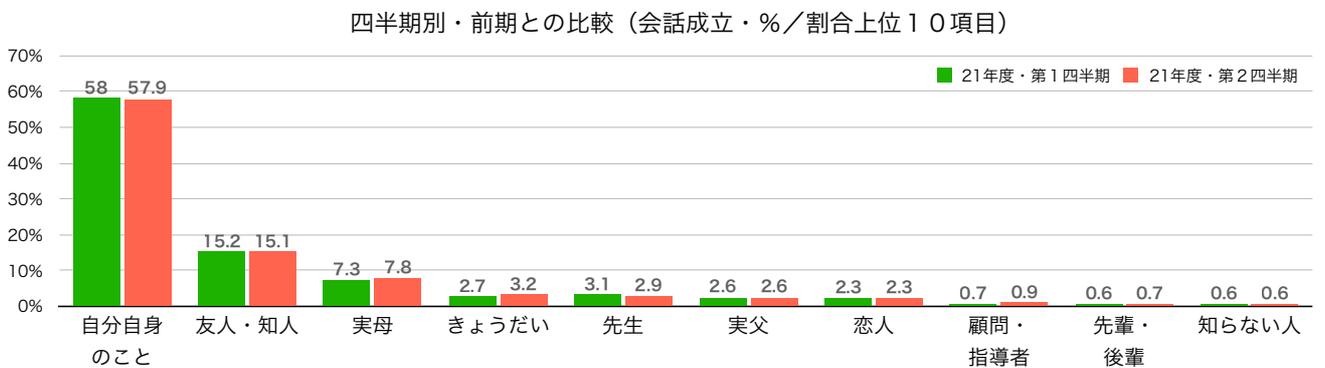
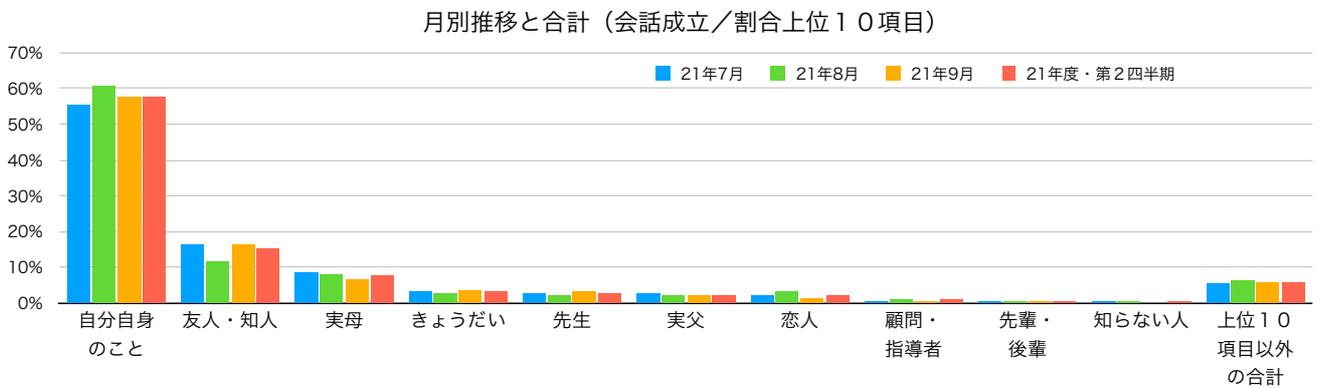
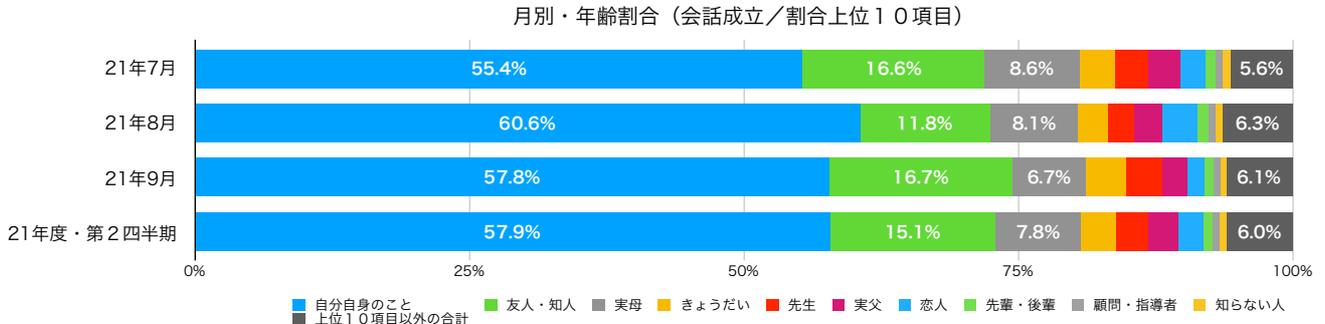


前年同時期（四半期）からの増減（会話成立・%ポイント／ポイント幅の大きい10項目）

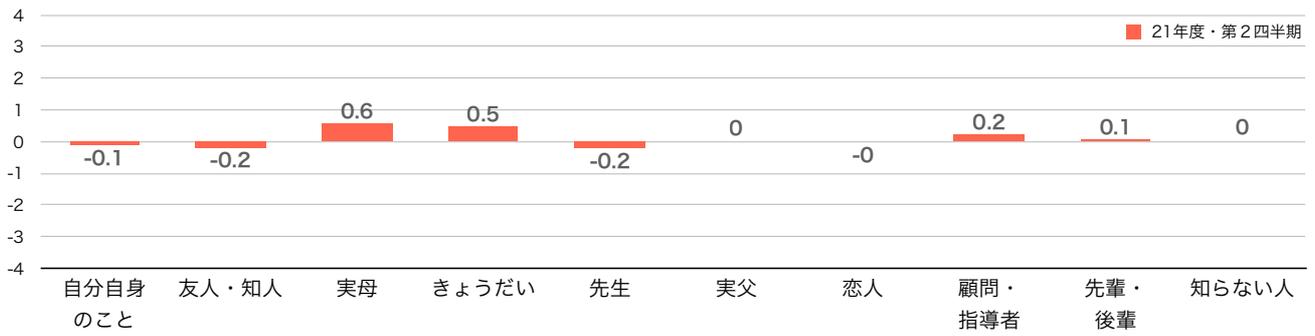


《データベース・関係性（会話成立）》

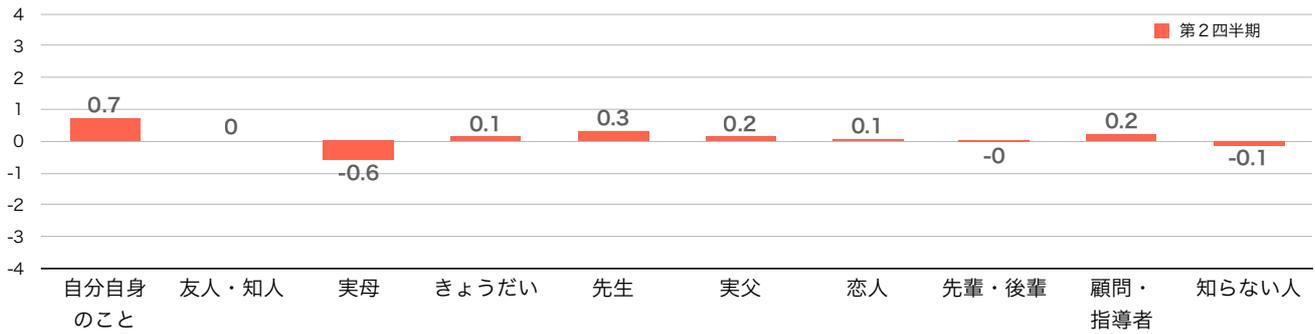
データベースの「会話成立」の中の「関係性」を軸に集計した。8月にやや変化があり、「友人・知人」が減少、「自分自身」「恋人」が増加していた。また9月は「実母」との関係がやや減少している。



前四半期からの増減（会話成立・%ポイント/ポイント幅の大きい10項目）



前年同時期（四半期）からの増減（会話成立・%ポイント/ポイント幅の大きい10項目）



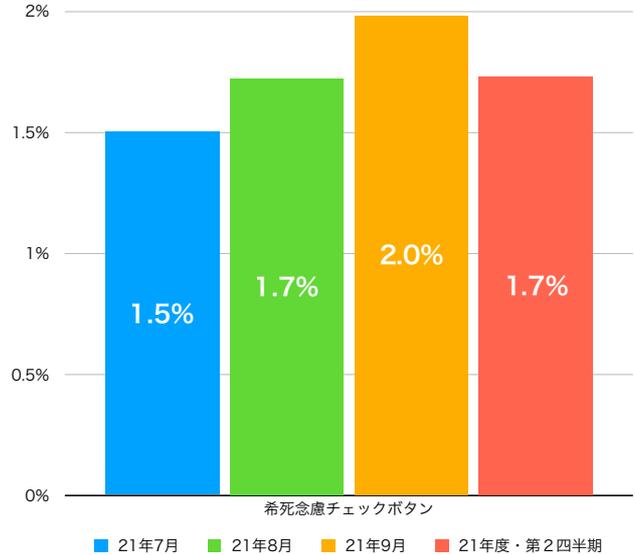
《データベース・背景に希死念慮がある（会話成立）》

データベースの「会話成立」のうち、内容の背景に「希死念慮があるケース」に絞って集計した。集計数が少ないため、大きな変化は読み取れないが、前四半期（4-6月）からは34件増加、また7月から9月にかけて増加した。

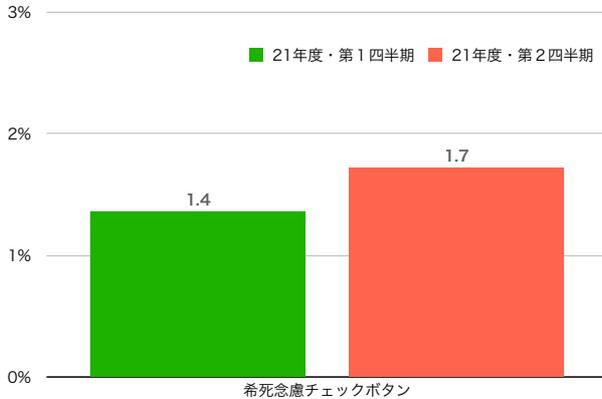
背景に希死念慮がある件数

年月	件数
21年7月	58件
21年8月	61件
21年9月	71件
合計	190件

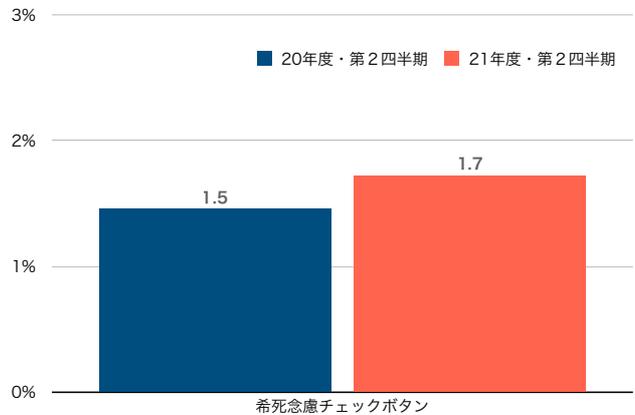
月別推移と合計（会話成立）



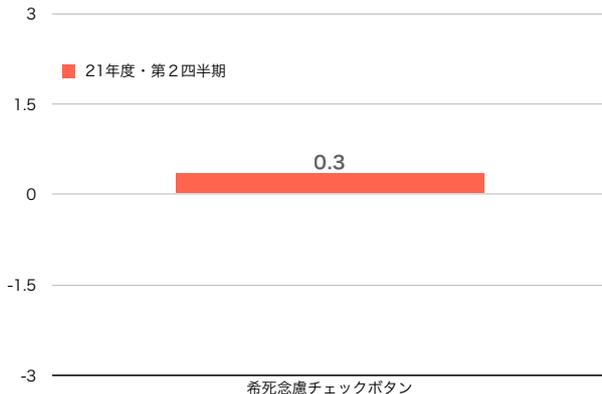
四半期別・前期との比較（会話成立・%）



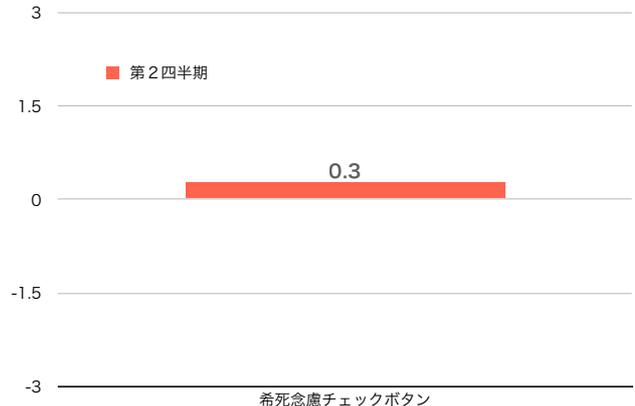
四半期別・2020年の同期との比較（会話成立・%）



前四半期からの増減（会話成立・%ポイント）



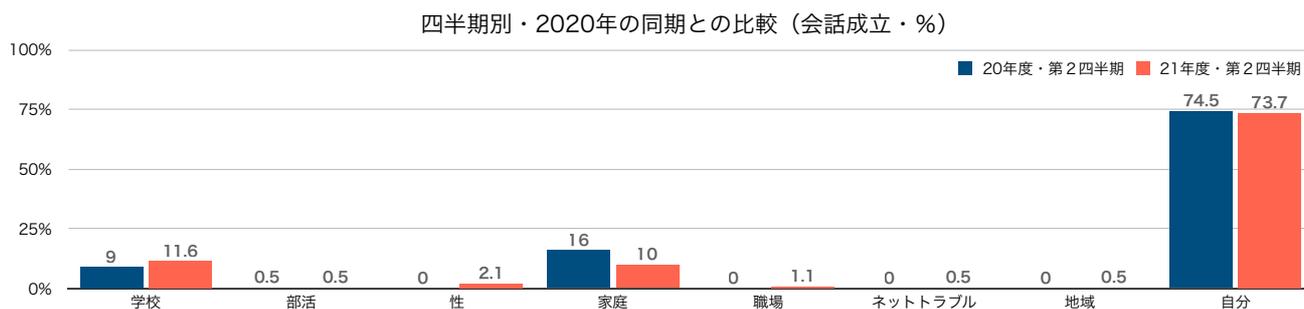
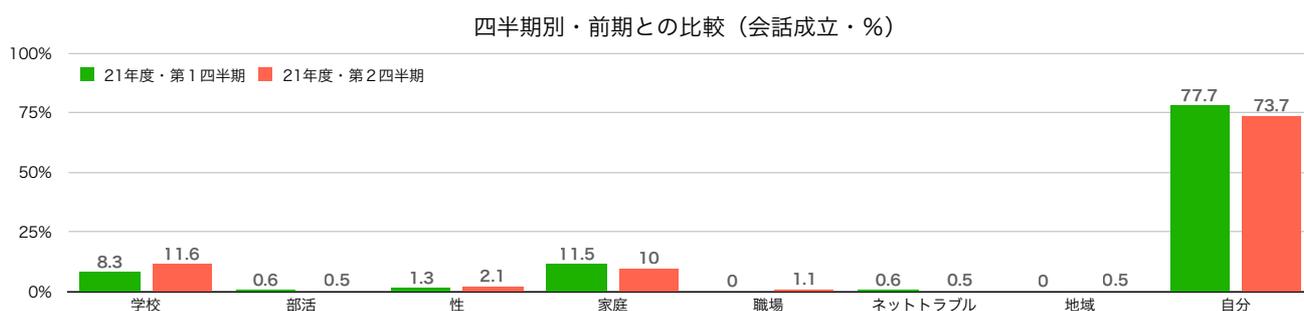
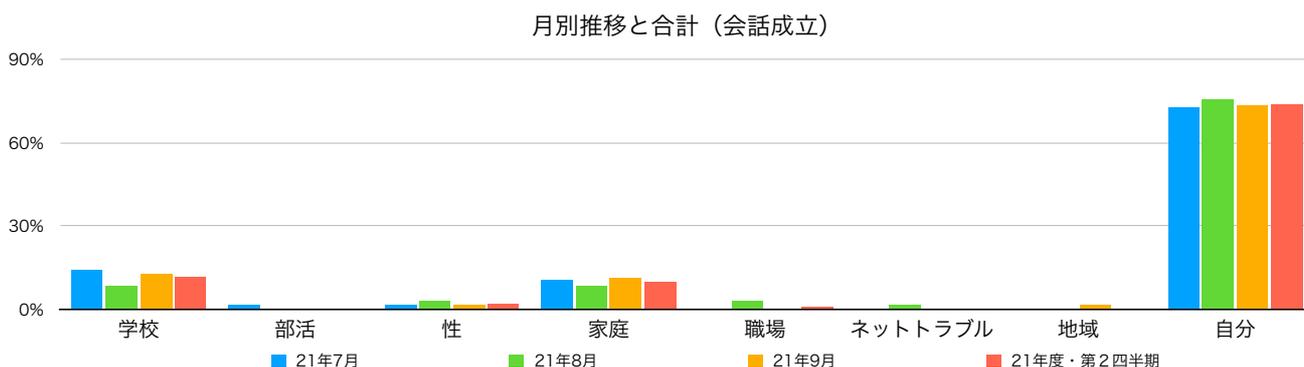
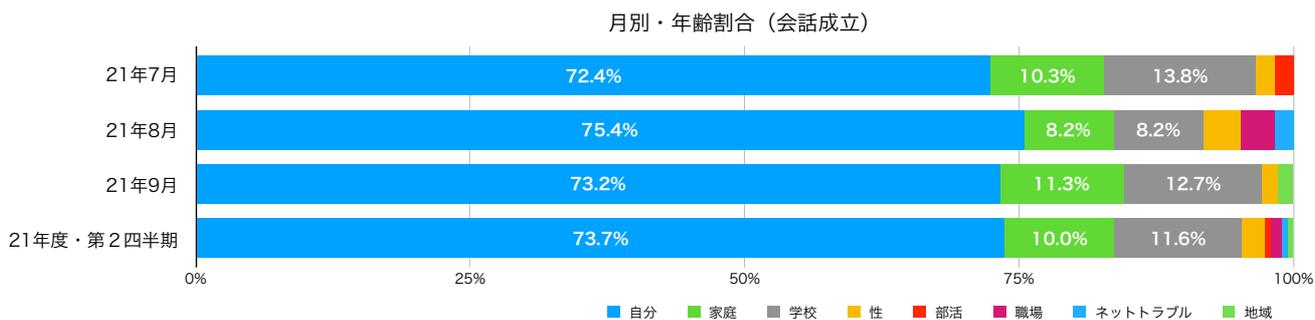
前年同期（四半期）からの増減（会話成立・%ポイント）



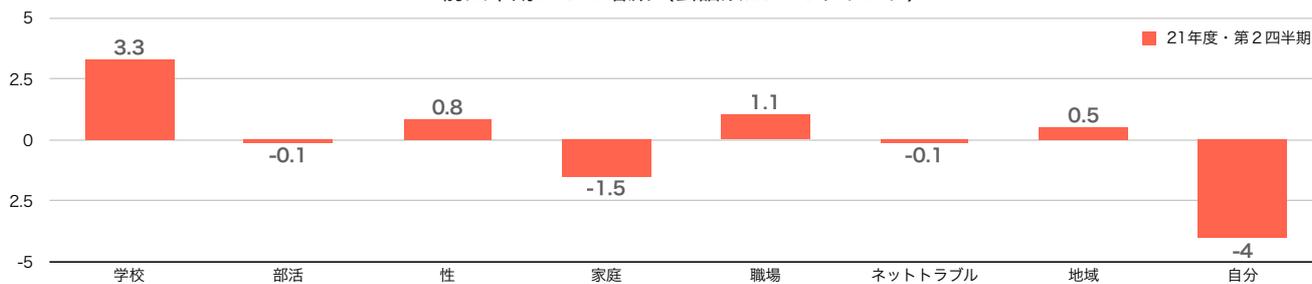
《データベース・主訴／希死念慮項目の内訳（会話成立）》

データベースの「会話成立」のうち、「主訴／希死念慮項目（自分／心に関すること／希死念慮）」に絞って集計した。各グラフとも、少し変化があるように見えるが、分母が100件／月を切るため、大きな変化があるとは言い難いが、8月にやや内容が変化している可能性がある。

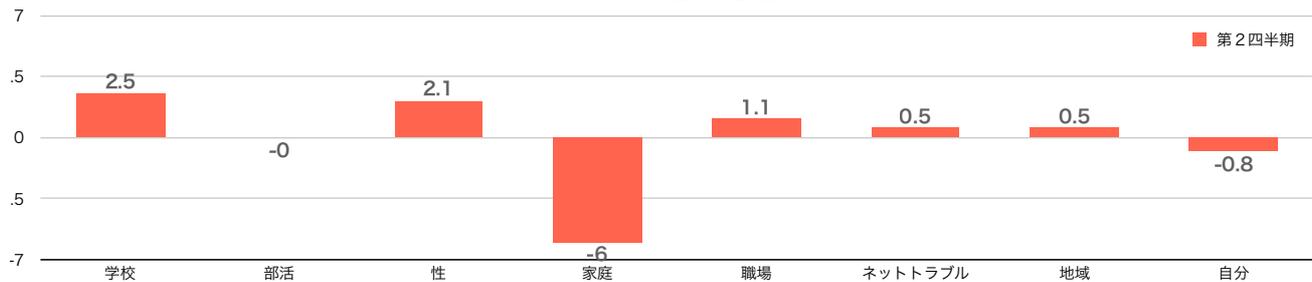
また、前四半期（4-6月）比較では、「学校」が増加し「家庭」「自分」が減少し、前年同期比では「学校」が増加、「家庭」が減少している点は気になるところだ。



前四半期からの増減（会話成立・%ポイント）



前年同時期（四半期）からの増減（会話成立・%ポイント）



【この資料に関する問い合わせ】

作成：特定非営利活動法人チャイルドライン支援センター
〒162-0808 東京都新宿区天神町14 神楽坂藤井ビル5F
メール：info@childline.or.jp 電話：03-5946-8500
ウェブサイト：https://childline.or.jp/